

拜啓

時下新緑の候愈々御清穆に可被爲涉奉欣賀候
陳者生義今般當出張所と共に表書の所に移轉致し候間
可然御承知置被下度此段御報知奉申上候

却說爾來は隨時御伺可申上筈の處常に店務多忙の爲め
私事を省みるの暇なく不相濟事とは乍存辱知御一般に
對し奉り絶へて奉伺の禮を欠き甚しきは毎度御懇書を
戴きながら其時々御受だに不申上大に御無沙汰に打過
候段重々恐縮の至に堪へす今更ながら幾重にも御容赦
被下置候様伏して御詫申上候此義何卒惡からす御諒恕
被成下候而將來も尙は不相變御眷顧の程奉願上候
右轉居の御通知旁々平素欠禮の御詫迄奉得貴意候敬具

明治三十八年六月十八日

きかは便郵

LA TTE POSTALE



佐賀市 赤松河
石丸勝一殿

京都市四條通烏丸東入

共濟

生命保險
株式會社

京都出張所内

朝永平次郎